

11/7 全国労研交流会議の挨拶

おはようございます。

昨夜の懇親会では、行政や関係団体の皆さまをはじめ、多くの方々にご参加いただき、200 名を超える盛会となりました。ご出席いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

懇親会の挨拶でも少し触れましたが、東京労研は今年で 79 周年を迎え、来年には 80 周年の記念式典や記念史の発行を予定しております。今後も、建設業界の発展に少しでも貢献できるよう、引き続き活動が続けてまいります。

本日は、全国の労研から多彩な活動報告があります。限られた時間ではございますが、皆さまの課題解決やスキル向上の一助となれば幸いです。

なお、本日お手元の配布資料に「手すり先行システム足場実機講習のご案内」をお入れしていますので、簡単に紹介いたします。

例年、仮設の足場からの墜落災害が多く発生しています。このため、安衛法関係法令の改正により本足場の原則使用、注文者による足場点

検に係る規制が強化されています。

このような状況のもと、一般社団法人仮設工業会が安全な足場を組立て解体できる事業者を登録して現場の安全水準を向上する仕組みを検討しています。その一環としてこの講習が 11 月から開始されることとなりました。

この講習は、現在わが国で使用される主要な手すり先行システム足場の実機をそろえて、それぞれの足場の特徴や違いとともに、組立解体や点検に係る重要ポイントを演習方式で習得することができるものとなっており、この検討に私も委員の一人として協力してまいりました。

現場を一層安全なものにするため、下請けとして使用する足場組立て等専門工事業者に受講を薦めるとともに、元請の皆さんにも現場の管理、指導の観点からぜひ受講をお勧めしますのでご検討ください。

本日も、どうぞよろしくお願い申し上げます。